

担当部課名	総務部 安全安心課	関連部課名	
-------	--------------	-------	--

基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】
施策名	交通安全
交通安全思想の普及を図るために、交通安全教室や広報活動などの情報提供の強化、地域が主体となった交通安全活動の促進、警察や地域との連携による交通事故防止、通学路の安全確保や交通安全施設の整備などの取組を推進します。	
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 ●交通事故が少ない誰もが安心して暮らせる安全なまちとなっています。	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 交通安全思想の普及

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
交通安全教室の開催	63回	54回	55回
ベビーシート貸出	138人	141人	150人

2 安全な道路環境の整備

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
道路反射鏡設置	7基	13基	5基
道路区画線設置	3,356m	1,575m	2,800m
道路照明灯等修繕	3,477,699円	3,059,908円	3,000,000円

3 地域との連携による交通事故の防止

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
交通安全都市推進協議会事業	9,374,000円	9,508,292円	9,939,000円
交通指導員設置	9人	10人	11人

◆評価指標

指標名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	将来目標
交通安全教室参加者率	目標値		60.57人	61.00人	70.00人
	実績値	60.06人	59.06人		平成32年度
	目標値				
	実績値				平成32年度
	目標値				
	実績値				平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
交通安全教室参加者率	人口1,000人あたりの交通安全教室参加者数

◆指標の分析

実技を伴った体験型の教室も開催しているが、屋外で実施されることが多いため、天候の影響を受けやすい。このため、教室開催の実績に影響が出ている。

◆今後の方針

施策の課題
参加体験型の教室は印象に残り、交通安全意識の醸成に適しているが、限られた時間の中で、参加者全員に浸透を図ることが難しい面がある。

今後の施策展開
事故情勢に対応し、実践ポイントをわかりやすく伝えることを第一に考え、より多くの参加者が得られるよう、日時、場所、内容、配布物品などを工夫する。映像や実演を取り入れて印象に残る教室になるよう努める。

課長評価	構成事業の進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	交通安全対策については、警察、地域との連携が不可欠でありソフト対策については、概ね現状でよいと思われるが、道路照明灯、カーブミラー、道路区画線設置などのハード対策については、限られた予算の中で、できる限り地域住民の要望に応じていけるよう努めていきたい。

部長評価	施策の進捗状況	B:目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	蒲郡市内、愛知県内とも、交通事故死者数は、増減を繰り返しながら、全体としては減少の方向にきたものの、ここ数年減少がとどまっている現状である。 交通事故防止は、市民の意識向上が不可欠であり、特に高齢者に対する啓発を強化する必要がある。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長マニフェスト	実施計画
3-11	安全安心課	98	交通安全施設設置事業	4,233	1,854	0.30	B	エ	2	×
3-11	安全安心課	99	交通安全施設維持管理事業	19,478	1,618	0.35	B	ウ	2	×
3-11	安全安心課	100	交通安全啓発事業(各種交通安全キャンペーン・啓発活動、交通安全教室、交通安全用品配布、HP更新、ペビシート貸出、運転免許自主返納)	500	2,830	0.75	B	カ	2	×
3-11	安全安心課	101	交通指導員設置事業費	11,682	3,234	0.55	B	カ	2	○
3-11	安全安心課	102	交通安全都市推進事業	9,508	4,376	0.70	A	オ	—	×
3-11	土木港湾課	318	交通安全対策事業	29,376	3,985	0.55	A	ウ	—	○